



4年 萩原 希美さん

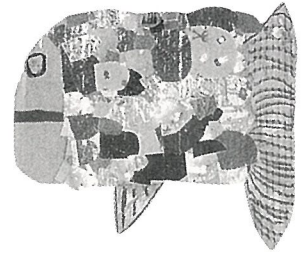


『ちゃんと見て』

※火のしまつをしつかりできるよにかきました。キャラクターに苦労しました。



1年 石井 良くん



『マンボウ』

※このいろをかえて1まいすつはるのが、たいへんでした。



『冬の伝言板』



5年 川島 惇子さん

※のこぎりを使って雪だるまを切り取るのが大変でした。家で使いたいと思います。



『すてきなぼうし』

2年 石井なつみさん

※こびとさんがかぶっているぼうしをイメージして、かわいらしく作りました。



6年 高梨 悠さん



『顔』

※男の人と女の人を顔だけで表現しました。髪の毛は目立つように赤くしました。

あつまれ みんなの 力作



3年 郡司 真緒さん

※私は「あさ日」の日を何度もれん習して、じょうずに書けたと思います。



評者吟 若き日の姿を浮かべ賀状書く 椎名しげる 起き伏しの身をうとんずる去年今年

初詣おみくじの娘に夢の彩 大谷 武彦(木戸)

縁起もの飾る床の間三ヶ日 川島 孝夫(二又)

初夢は富士まで行けず甲斐駿河 伊藤 定男(尾垂)

菊花紋の菓子なつかしむ四方拜 川島 通則(二又)

門松によわい重ねて祝い酒 大木 素風(二又)

山峡の里に鶏鳴淑気満つ 土屋 義昭(虫生)

山々に囲まれた集落、黎明の静寂を破る一番鶏の声は作者に清新な気分を写えた

つたえ継ぐおとこ厨の三ヶ日 大木 静水(篠本)

若水を汲み朝餉の仕度は男の役目、旧家に残る伝承の行事であるが今では皆無に近い

肩越しに孫の笑顔や初鏡 越川せつ子(篠本)

おばあちゃん子の無邪気な孫とのほほえましい情景の一駒でてらわな作品に共鳴

